

かすが 議会だより

議会だよりは市民とともに

2020年
11月15日
.....
No.202



令和2年
9月定例会



もくじ

- 2 令和元年度決算認定
- 5 全ての議案の議決結果
- 6 9月定例会での議案審議
- 9 定例会の視点・論点
- 10 13人の議員が一般質問
- 14 議会活動の報告
- 16 きかせて！あなたの声



あなたの写真が表紙に！

議会だよりの表紙に市民のみなさんが撮影した写真を募集しています。
ご応募お待ちしております。

表紙応募方法の詳細はコチラ→



次号203号
令和3年2月15日発行
12月11日
メ切

Q&A

決算審査
特別委員会
での

委員会の審査では、各事業の
決算内容について、さまざま
な質疑が行われました。
ここでは、その一部をお知らせ
します。



不妊治療費助成事業は

問 個人の負担を少なくするために、もう少し助成金額を上げたらどうか。

答 まず、県が先に助成を決定し、それでも足りない場合は市が10万円を上限に助成をする。県下20程度の自治体が同じような取り組みを実施しており、ほとんどのところが10万円になっている。ただ、この10万円が本当に適正かどうかは今後の課題だと思っているため、来年度考えていきたい。

ため池防災減災事業は

問 今回の大牟田池の液状化判定業務においては、液状化の可能性があるという結果が出ているのか。

答 今回は、液状化の可能性があるという判定結果になっている。対策が必要ということにはなるが、再度、レベル2地震動における耐震調査を県の指導に基づいて行う必要があり、その結果を受けて、最終的な対策を検討していくという段階である。

コミュニティ・スクール事業 (小中学校眠育支援業務)は

問 この事業については、今後も継続していく予定があるのか。

答 この事業は、令和元年度から令和3年度までの3年の試行期間をとる事業としている。この後の計画としては、今回はアンケート結果、子どもたちの状況を継続的に把握していくとともに、各学校で眠育の授業に取り組みるように、先生方への指導も行っていきたいと考えている。

コミュニティバス事業は

問 利用者の声の中に、大野城市や那珂川市など、近隣の自治体と広域的に事業を行ったらどうかなどの声はないか。

答 その件については、実際協議はしているが、春日市と他の自治体ではコミュニティバスの目的が違うので、今後検討して、調整が図られれば行っていきたいと思っている。

議会の予算は、
このようになって
います。内訳に
記載しているのは、
主な項目です。



議会費は2億5,678万円

(主な項目と決算額)

- ・議員報酬(20人).....1億1,450万円
- ・期末手当(20人).....3,364万円
- ・政務活動費(議員一人当たり1万2,500円/月額) 275万円
- ・視察時の旅費、費用弁償.....376万円
- ・議会だよりの作成(年4回).....227万円

吉居 恭子 議員 **反対**

約11億7千万円の実質収支と約10億1千万円の基金積立を合わせた、約21億8千万円(歳入の6.19%)の予算が使われずに残った。現在、春日市に住む市民のため、子育て支援の充実など、より有効に、より多くの資金を使うべきだった。

中原 智昭 議員 **賛成**

扶助費などの社会保障関連の経費が増加し、公共施設の更新費用などがかさむ一方で、新たな借り入れの抑制と借金の着実な返済により公債費の伸びを抑え、歳出の増加を抑える努力の結果として、実質収支は約11億7千万円の黒字になっている。

令和元年度

一般会計決算をチェック!

9月定例会では、決算審査特別委員会を設置し、令和元年度一般会計の決算審査を4日間にわたり行いました。委員会では、「決算書」や「主要な施策の成果」などの資料を基に、慎重に審査を行い、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

令和元年度一般会計 決算状況

黒字

- 歳入総額** 352億3,214万円
(前年度比約10億円減)
- 歳出総額** 336億2,844万円
(前年度比約9億円減)
翌年度に繰り越すべき財源4億3,171万円
- 実質収支額** 11億7,198万円
詳しくは市ウェブサイトでご確認ください。

**賛成多数
認定**

決算審査特別委員
会は議会選出の監
査委員を除く、19人
の議員で構成されて
います。



歳入・歳出の
主な内容を
前年度比で
見てみると



【歳入】10億4,329万2千円の減収

- ・市税、地方特例交付金などは**増↑**
- ・市債、寄附金および繰越金などは**減↓**

	区 分	対前年度増減額
増額要因	市税	2億2,545万6千円
	地方特例交付金	1億8,189万2千円
減額要因	市債	▲7億170万円
	寄附金	▲5億4,101万8千円
	繰越金	▲2億9,804万4千円

【歳出】9億1,322万1千円の減

	区分	対前年度増減額	主 な 内 容
増額要因	民生費	9億5,972万1千円	公私連携型保育所大和保育所施設整備事業費
			障害児通所給付事業費
			児童扶養手当費
減額要因	土木費	▲14億4,312万5千円	県施行都市計画道路事業等整備基金積立金
			若草市営住宅建替事業費
	総務費	▲6億8,149万9千円	西鉄春日原駅周辺整備事業費 公共施設等整備基金積立金 かすがふるさと応援寄附金推進事業費

議案の内容は
こちら

9月定例会 議決結果一覧

令和2年第3回(9月) 定例会 件 名			議決 結果	賛成	反対	公明党				翔春会		創政会		春風会		令桜会		春令会		春陽会		会派に所属 しない議員			
						野 口 明 美	岩 切 幹 嘉	高 橋 裕 子	原 克 巳	中 原 智 昭	迫 賢 二	船 久 保 信 昭	米 丸 貴 浩	川 崎 英 彦	飯 田 浩 昭	内 野 明 浩	白 水 祥 太 郎	北 田 織	藤 井 俊 雄	西 村 澄 子	金 堂 清 之	岩 淵 穰	吉 居 恭 子	西 川 文 代	
人事	人権擁護委員の候補者の推薦	→P7へ	同意	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	こども医療費の支給に関する条例	→P7へ	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	重度障害者医療費の支給に関する条例	→P7へ	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例		原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	令和2年度 一般会計補正予算(第6号)	→P6へ	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度 国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)		原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度 介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度 下水道事業会計補正予算(第2号)		原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算認定	令和元年度 一般会計歳入歳出決算認定	→P2~3へ	認定	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	令和元年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	→P4へ	認定	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	→P4へ	認定	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度 介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	→P4へ	認定	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度 筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定	→P4へ	認定	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度 下水道事業会計収入支出決算認定	→P4へ	認定	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	財産の取得(消防ポンプ車)	→P8へ	同意	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	財産の取得(タブレット型パソコン(春日市立小中学校用))	→P6へ	同意	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	児童センターの指定管理者の指定	→P7へ	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
提議 出員	決算審査特別委員会の設置		原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告 専決処分	訴訟事件の和解		承認	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	道路の管理の瑕疵による自動車損傷事故に伴う損害賠償の額の決定		承認	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	現下のコロナ禍における衆議院解散総選挙の実施に際し熟慮を求める意見書	→P9へ	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	→P9へ	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告事項	令和元年度春日市健全化判断比率について(令和2年9月1日受理)																								
	令和元年度春日市資金不足比率について(令和2年9月1日受理)																								

※松尾徳晴議員(春陽会)は議長職のため、表決権はありません。 ※◎は会派代表者 (○賛成 ●反対)

一般会計補正予算
(第6号)採決に
あたったの討論

吉居 恭子 議員

賛成

新型コロナウイルス関連の緊急支援策では、4月28日以降に生まれた新生児への臨時特別定額給付金、高齢者インフルエンザ予防接種支援、PCR検査センター運営補助金など、市民の健康と生活を守り、励ますための補正予算となっており賛成する。

特別会計・事業会計

決算状況

付託された常任委員会において、各特別会計・事業会計の審査が行われ、すべての決算を認定しました。

全員賛成認定

市民厚生委員会

国民健康保険事業

ポイント

一般会計繰入金のうち、赤字とみなされる決算補填目的の繰入は無い。これは積立金4億円を取り崩し財源としたことおよび激変緩和措置の実施によるものであり、今後、重症化予防の取り組みなど医療費の適正化が求められる。

歳入

98億2,252万1,578円

歳出

96億1,830万926円

問

平成30年度からの新たな取り組みの一つである「糖尿病性腎症重症化予防事業」の成果はどうか。

答

2年目であるため、明らかな成果を示すことはできないが、筑紫医師会と筑紫地区5市で取り組んでいる事業であり、今後も継続して行っていく。

市民厚生委員会

後期高齢者医療事業

ポイント

軽減特例の見直しが行われたが、被保険者数は増加傾向にあり、後期高齢者医療保険料は前年度比4.2%増となった。

歳入

14億7,850万728円

歳出

14億919万2,811円

市民厚生委員会

介護保険事業

ポイント

要支援者数の増加に伴い、介護予防サービスの給付費は増加している。月額包括報酬制から回数制に改定された介護予防・生活支援サービス事業費の給付件数は増加したが、給付額は減額となった。

歳入

68億5,097万5,209円

歳出

67億1,930万8,147円

問

地域における在宅医療と介護の連携体制の課題解決のための基本的ルールおよび情報共有のためのツールとは何か。

答

筑紫医師会に設置されている在宅医療・介護連携支援センターを中心に、筑紫地区で統一の様式を使い、入院退院時の医療および介護の情報を連携する仕組みづくりを行っている。

地域建設委員会

下水道事業

ポイント

那珂川宇美線拡幅および春日原駅周辺整備に伴う、汚水枝線築造工事を実施した。ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の改築更新を計画的かつ効率的に進めるため、雨水管渠実施設計および汚水管渠改築工事を行った。また、浸水対策に関する実施設計業務を行い、水路断面の拡幅などによる流下型事業として、白水第2雨水幹線改築工事および大和第1雨水幹線改良工事を実施した。

収益的収入

22億6,662万8,478円

収益的支出

18億8,508万7,493円

資本的収入

5億4,599万1,663円

資本的支出

15億46万7,945円

問

側溝の土砂堆積については、どう処理しているのか。

答

クリーン作戦で土砂の堆積が確認された箇所は、市の作業班などで浚渫をしている。市全域の調査は距離があり難しいが、パトロールをすることで、道路冠水が頻発している場所を注意して調査していきたい。

春日市子ども医療費の支給に関する条例の一部改正

子ども医療費の支給対象年齢を拡大

福岡県公費医療費支給制度の改正に伴い、これに準じてこどもの通院の医療費に係る支給対象年齢を12歳から15歳までに拡大するもの(令和3年4月1日から)。保護者などの自己負担額は、表のとおりになる。

自己負担額			
区分	通院		入院
	これまで	改正後	
3歳未満	0円		0円
未就学児	800円／月		500円／日 (月7日限度)
小学生	1,200円／月		
中学生		1,600円／月	

※いずれも所得制限はありません。

問 支給対象年齢の拡大に伴い、市の影響額をどの程度見込んでいるのか。

答 今回の改正により、歳出予算で約4千万円の増となるが、そのうち2分の1は県からの補助があるため、実質、約2千万円の増を見込んでいる。

春日市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部改正

重度障害者(中学生)の入院医療費の自己負担額を軽減

福岡県公費医療費支給制度の改正に伴い、これに準じて、重度障害者のうち、中学生の入院医療費に係る自己負担額の改定などを行うもの。

これにより、支給に伴う所得制限が児童手当に準拠することとなり、保護者などの自己負担額は、表のとおりになる。

自己負担額		
区 分	これまで	改正後
一 般	500円/日(月20日限度)	500円/日(月7日限度)
低所得者(市民税非課税世帯)	300円/日(月20日限度)	300円/日(月7日限度)

問 改正に伴い、財政に影響はあるのか。

答 今回の改正は、中学生の入院医療費に限ったものであるため、ほとんど影響はないと考えている。

児童センターの指定管理者の指定

エフコープ生活協同組合を須玖児童センターの指定管理者に指定

令和3年4月1日から同6年3月31日までの3年間における春日市須玖児童センターの指定管理者を、公募・審査の結果、エフコープ生活協同組合(糟屋郡篠栗町中央1丁目8番1号)とする。

問 審査項目の中の「児童センターの目的、趣旨を理解した魅力的な提案」は具体的にはどのようなものがあったのか。

答 子育てへの負担感や不安感を解消する事業として、父親参加型事業などの提案があった。

人権擁護委員を推薦

人権擁護委員

なかはら ちがこ
中原 千賀子氏(2期目)
任期は令和3年1月1日から3年間

【人権擁護委員】とは
家庭内や隣近所のトラブル、いじめや差別など、さまざまな人権問題や悩みごとの相談に応じる。全国には14,000人、本市では9人が法務大臣から委嘱され活動している。

令和2年度一般会計補正予算(第6号)

■補正額 5億1,883万1千円増 ■歳入歳出総額 487億7,995万9千円

春日市新型コロナウイルス感染症緊急支援策(第4弾)

◆新生児臨時特別定額給付金(9,573万4千円)

内容 令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれた新生児1人あたり10万円を支給

◆中小企業などへの応援金(4,000万円)

内容 国の持続化給付金または福岡県持続化緊急支援金の給付決定を受けた事業者への応援金を増額補正

問 対象事業所数についてきちんと把握するべきでは。

答 平成28年の経済センサス活動調査を基に算出し、今年6月以降の申請数の伸びを加味して補正している。

◆高齢者のインフルエンザ予防接種支援(4,183万6千円)

内容 新型コロナウイルス感染症の重症化リスクの高い65歳以上の高齢者のインフルエンザ予防接種の自己負担を免除

問 どのくらいの接種率を見込んでいるのか。

答 令和元年度接種率は50%を切る程度であるが、今年度は70%を見込んでいる。対象の方に個別の通知やPRを行って早期接種に取り組みたい。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策(施設整備など)

◆避難所の感染防止対策備蓄品購入(308万6千円)

内容 避難所における感染症対策用の備蓄品(ルームテント、パーティションなど)を購入

問 各地区の公民館での備えは。

答 スポーツセンターの倉庫にまとめて備蓄し、必要に応じて各公民館に届けたい。

◆各地区公民館等の網戸整備(500万円)

内容 地区公民館における感染症対策として、換気のための網戸を設置

◆市内公共施設へのサーマルカメラ配備(309万1千円)

内容 市内の主な公共施設にサーマルカメラを配備

財産の取得

小中学校にタブレット型パソコンを購入

取得の方法 随意契約

取得価格 4億5,919万6,100円

問 公募型プロポーザルによる随意契約であるがその理由は。

答 安定的、効率的かつ効果的なICT環境構築について事業者から提案を受け比較検討を行うことができ、資材調達や初期設定など期限に間に合わせることが最優先であるため。

健康福祉

発症時に受診科を
判断するツールの検討は



ふな く ぼ のぶあき
船久保 信昭 議員



問 さらなる医療費適正化のために、重複受診の減少などの観点から、診療受診科を判断できるツールの検討は。

答 一つの症状でも疑われる疾患は複数にわたり、疾患の絞込みには、詳細な症状、強さ、期間、他の症状がないかなど、患者本人が正確に自身の症状を訴えることが必要になる。病気やけがの症状の緊急度を判定するアプリはあるが、機械的に受診すべき医療機関を絞り込み、最適な結果を導き出すには多くの課題があるため、現時点では難しい。



健康福祉

医療的ケア児者等の協議の場の
設置の考えは



の ぐち あけ み
野口 明美 議員



問 医療的ケア児者等の支援に係る、協議の場の設置の考えは。

答 現状や課題などを把握するため、今年度末までには設けたい。

問 災害時対策として、医療的ケアが必要な人の個別避難支援計画を策定する必要は。

答 地域の支援だけでは困難のため、別途策定する必要がある。

問 災害時に在宅で人口呼吸器が使用できるよう、自家発電機や代替バッテリーなどの購入補助や貸し出し体制は。

答 緊急対応の必要性などを踏まえ、購入助成の対象項目に入れられるか検討していきたい。



健康福祉

高齢者をさらに見守る
支援体制をお願いしたい



いわきり みきよし
岩切 幹嘉 議員



問 一人暮らしの高齢者の支援としての「あんしんコール事業」の申請において、本人がちゅうちょされる場合があるので、市外の家族にも事業の情報を届けていただきたい。

答 非常に大事な視点であると考えている。今後さらに情報が届くよう工夫していきたい。

問 認知症高齢者の行方不明の早期発見につながる、さらなる取り組みの拡充をお願いしたい。

答 身元確認できるよう、持ち物に名前などの情報を載せたシール作成など検討したい。



健康福祉

ネット社会における
高齢者の支援について



さ こ けん じ
迫 賢二 議員



問 世界中が、政府がキャッシュレス化、スマホ化を進めていく中で、サービスの享受が難しい高齢者の方々をどのように支援していくのかという視点を決して忘れてはいけないと考える。春日市として、そのような高齢者の支援をどのように考えているのか。

答 市報やチラシなどの紙媒体などを活用し、必要な情報やサービスが行き届き、すべての高齢者の皆さまが、住み慣れた地域の中で安心して暮らし続ける事ができるように力を尽くしていく。



分野	質問項目	通告順	議員名		掲載ページ
市民生活	春日市の男女共同参画推進について	5	西川 文代	回数制	10
	地域共生社会の実現に向けた取り組みについて	10	高橋 裕子	回数制	10
安心な健康福祉	春日市いのちを支える自殺対策について	5	西川 文代	回数制	10
	医療的ケア児者等支援について	6	野口 明美	回数制	11
	病気の発症時における診療受診科の判断ツールについて	7	船久保信昭	回数制	11
	ネット社会における高齢者の支援について	9	迫 賢二	回数制	11
	高齢者を見守る支える取り組みについて	12	岩切 幹嘉	回数制	11
教育・文化・スポーツ	小中学校におけるGIGAスクール構想の進捗状況について	1	中原 智昭	回数制	12
	これからの学校教育に求められる取り組みについて	2	原 克巳	回数制	12
	ロマンと歴史があふれる春日市の文化財について	3	西村 澄子	時間制	12
	体育施設の適正配置について	4	藤井 俊雄	時間制	12
	コロナ禍で、児童生徒に寄り添う学校運営について	8	吉居 恭子	回数制	—
	不登校対策における切れ目のない支援について	11	川崎 英彦	時間制	13
	スポーツをとoshた青少年の健全育成について	13	岩淵 穰	回数制	13
都市整備	緊急時などにおける多様な情報伝達および管理について	2	原 克巳	回数制	12
	快適な都市整備の実現に向けたまちづくりについて	10	高橋 裕子	回数制	—
行政改革	おくやみ窓口について	6	野口 明美	回数制	—
	市政運営の透明性と市民への説明責任について窓口について	8	吉居 恭子	回数制	13

市民生活

断らない相談支援で
地域共生社会の実現を



たかはし ゆうこ
高橋 裕子 議員



問 個人や家族が抱えるリスクが複雑・多様化し、三つの支援を一体的に実施することが市の努力義務となった。①相談支援②参加支援③地域づくり支援だ。制度の縦割りを打破し、制度に人を合わせるのではなく、困り事を抱える本人と家族を支援する「断らない相談支援」が、誰も置き去りにしない社会を実現する基盤となる。積極的に取り組む考えは。

答 第4次地域福祉計画策定委員会の意見を聞き、課題検討や事業実施に向けた会議で検討したい。



市民生活

市や中学校での多様性の
尊重と自殺対策は



にしかわ ふみよ
西川 文代 議員



問 部長職が全庁的な意思決定をする場面が多く、多様性の確保が必要。市役所の女性部長を1名から最低3名に増やす必要性への見解は。

答 課長職以上での女性の割合を30%以上にすることが、部長となる女性職員の育成につながる。

問 人権教育の推進と生徒の個性や能力を伸ばすため、制服を選択制に変えていくべきでは。

答 多様性の尊重は重要との認識で調査研究する。

問 自殺対策の子ども・若者への啓発活動の強化は。

答 インターネットなどを活用して実施していく。

9月定例会 一般質問

13人の議員が市政に対する
質問を行いました

いつでもどこでも

QRコードを
スマートフォンなどで
読み取ると、録画
映像が見られます。



※「回数制」は3回まで質問ができます。時間の制限はありません。
※「時間制」は議員が質問できる時間(持ち時間)は40分です。40分以内であれば、何度でも質問ができます。
※議会だよりにおける一般質問の原稿は、質問者本人の執筆によるものです。
※会議録(冊子)およびパソコンでの閲覧は、市民図書館でもできます。



答 聴覚障がい者などにとって有効なサービスだと認識しているので、さまざまな手段で広く周知に努めたい。



今定例会の一般質問は13人です

※日程は都合により変更になることがあります。



議長あいさつ



今年、春日市議会は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、議会報告会を中止いたしました。一方で、コロナ禍における市民への緊急支援施策を進めるため臨時議会で審議し、また、議員に寄せられた市民の声を取りまとめた要望書を議会として市長に提出したところです。これからも、市民に直接必要な施策を審議し、これを市民の方々に分かりやすく説明するよう努めてまいります。

議会報告会は各委員会が活動報告を行い、議員が市民と直接向き合い要望を聞き意見を交わす、議会を身近に感じ理解していただける重要な場です。それが中止になり非常に残念に思っています。

今後も、議場を子どもたちに開放し模擬議会の開催や、現在行っている市民コンサートを拡大するなど、議会が市民の方と寄り添う、身近な存在になればと思っています。

市民厚生委員会



市民厚生委員会は、市民の福祉分野に直結した委員会として、社会保障・健康スポーツ・子育て・人権啓発など、さまざまな問題に取り組んでいます。

今年度は特に、今まで経験したことのないコロナ禍において、住居確保給付金や生活福祉資金の特例貸付の現状、来年度に向けて新たに開設する東地域包括支援センターや特別定額給付金の支給の徹底などについて協議してきました。

また、今年度から指定管理者が変更となった放課後児童クラブや来年度から公私連携型保育所となる須玖保育所については、市民から請願書が提出されたため、委員会に請願者をお呼びし、内容を確認するなど、真摯に審査を行いました。

まだまだ出口の見えないコロナ禍ではありますが、市民の皆様の不安を少しでも取り除き、安心した生活が送れる市政を目指して活動していく所存です。

地域建設委員会



地域生活部、都市整備部の2部を所管する当委員会は、まちづくりのソフトとハードの両面で市民の日々の暮らしに深く関わっています。

地域生活部には安全安心課があり、今回の台風10号に際し、総合スポーツセンターを自主避難所として初めて運営する中で、コロナ禍ならではの多くの課題と成果が集積されました。委員会として担当課と協議し、より良い避難所の在り方を検討して参ります。

都市整備部においては、現在大規模な県事業3件が並進しており、西鉄天神大牟田線連続立体交差事業の高架切替が当初予定より遅れ令和4年8月末となることから、駅周辺整備事業の進捗を委員会として注視しています。那珂川宇美線と長浜太宰府線の2つの県道においても用地買収が計画より遅れており、整備基金の効果的な活用を含め、早期完成に向け議論を進めています。

議会運営委員会



議会の運営を円滑に行うため、議会の運営方法を協議したり、議長から諮問された事項などについて調査や審査を行います。

主な協議事項は

- ① 会議日程に関する事
- ② 議事の進行に関する事
- ③ 議案などの委員会付託に関する事
- ④ 議員提出議案、意見書案および決議案の取り扱いに関する事
- ⑤ その他議会運営に必要な事項に関する事

特に今年度の取り組みとして協議した内容は

- ① 新型コロナウイルス感染および各種災害を想定した議会業務継続計画(議会BCP)の策定
 - ② 議会ICT化への推進と活用
 - ③ 議会基本条例の見直しと改正
- 市民の皆さんに信頼される議会として、求められる課題に取り組み協議していきます。

広報広聴委員会



昨年度の議会報告会以降、本委員会が位置付けた課題と、それに対する取り組みは以下のとおりです。

課題

- ① 議会だより：市民に「伝わる広報」を目指し、編集に努めていますが、それ以外の広報手段は何かあるのか
- ② 議会報告会：開催形式や意見交換会の手法などを変更しましたが、広く市民の意見や要望を伺う「広聴」としての成果はどうか

取り組み

- ① 議会の仕組みを少しでも分かりやすく説明する連載記事「ギカイのトリセツ」を新設
- ② 少人数で和やかな雰囲気の中、各団体の率直なご意見を傾聴する「広聴会 きかせて！皆さんの声」を企画・実施
- ③ より良い議会だより編集のための工夫・研究
さまざまな広報広聴手法の可能性を考え、常に、的確な市民ニーズの把握に努めて参ります。

総務文教委員会



新型コロナウイルスは世界的大流行となり、今なお世界各地で猛威を振るっています。この未曾有の危機に対し、市は4回の補正予算を組み、市独自の感染症対策関連予算総額は18億8,688万円となりました。

委員会では、学校のICT環境整備について「専門家の意見を参考に、統一的に取り組む必要性や将来を見据えたオンライン学習の拡充の必要性、障がいのある児童生徒への整備」について質疑を行いました。

また「休校明けで学習の遅れや感染症対策による人員配置・人材確保は十分な支援ができるのか」など質疑を行いました。さらに、地域活性化について第2号補正では「中小企業応援金は全ての事業者に給付すべきではないか」、第3号補正では「中小企業などに5万円を支給する事業所支援金について周知徹底が必要では」との市民目線に徹しての質疑を行いました。

きかせて! あなたの声

市民の皆さんにお聞きします

vol.4



くさば こうじ
草葉 幸治 さん
(下白水南自治会長)

どんな活動をしていますか?

自治会活動に参加して8年目です。元々「フォトムービー(行事や旅行の写真に音楽を入れた動画)」の作成が趣味で、行事やサークル活動(夏祭り、文化祭、サロン、育児サークルなど)の写真を提供していただき、DVDを作っています。昨年は、春日西小学校の50周年DVDを作成しました。

表紙写真の応募のきっかけは?

子どもたちの表情がとてもかわいいので応募しました。昨年9月の子どもの会の防災訓練時の写真です。

春日市のここが好き!

4キロ四方に11万人が住み、都会のベットタウン化しているにもかかわらず、全18小中学校で地域との関係強化を前面に掲げた「コミュニティ・スクール」運動を推し進めているところです。

春日市議会のここに期待しています

議員の皆さまは、各自治会を廻り住民の声を、もっと聴いてほしい。忙しくて廻れないときは、アンケートなどで市民の声を集め、本当に困っていることと真摯に向き合っていただきたい。新しい提案が可決された結果はよく聞きますが、その検証も含めて報告していただければより良いと思います。

広聴会を開催しました

きかせて! 皆さんの声

市政に関して市議会に届けたい思いを伺う広聴会を、コロナ対策に最大限配慮しつつ開催しました。

今回参加していただいた“手をつなぐ育成会かすが”の皆さんから、地域生活支援拠点整備や重度心身障がい児者の現状と課題についてなど、5項目にわたりご意見を伺いました。

コロナウイルス感染拡大に伴う会員向けアンケート調査を独自に実施されるなど、当事者からの厳しくまた切実な声を頂くと同時に、各委員会の議員と意見交換ができたことに対して評価も頂きました。

これらを報告書にまとめ、議長に説明し提出しました。

この報告書は全議員に配付し、情報の共有を図っています。

“手をつなぐ育成会かすが”の皆さん、有難うございました。



編集後記

コロナ禍でも、あれだけ賑やかだった蝉の声も厳しかった陽の光も、いつの間にか過ぎ去り、秋は確かにやって来ます。

新たに始まった広報広聴委員会の議会だよりはいかがでしょうか。

「背伸びをはいけません。足元を見つめ、やれる事をどれだけできているか、それだけを思いなさい」これは、イタリアに留学する前にご挨拶に伺い、得意になって将来の夢を語る若き薩摩焼十五代沈壽官氏に司馬遼太郎先生がおっしゃられた言葉です。

たくさんの方の期待を受けて設置された広報広聴委員会。

市議会のことをもっと知っていただきたい、お伝えしたい。これからも委員会で議論を重ね、様々な視点から、伝わる広報、集める広聴を企画し実現できればと思います。

目指す理想は高く掲げつつ、一足飛びにはなく、やれる事をどれだけできているかをしっかりと見つめながら。

(責)

広報広聴委員会

委員長	米丸 貴浩
副委員長	吉居 恭子
委員	原 克巳
委員	西村 澄子
委員	西川 文代
委員	白水祥太郎